

十和田市事務事業評価シート

【事務事業の概要】

整理番号	②-88	実施計画番号	109	事業開始年度	
事務事業名	交通安全対策事業			事業終了年度	
担当課名	まちづくり支援課			事務の種類(選択)	自治事務
根拠法令等	関連事務事業				
背景や経緯等	交通事故の抑止のため、道路照明灯、ガードレール、反射鏡、交通安全看板等の整備に努める。				
事務事業の目的	自動車運転者及び歩行者や自転車利用者の安全を確保する。				
実施状況	道路照明灯、ガードレール、反射鏡、交通安全看板等を整備した。				

【人件費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
正職員	従事者数(人)	2	2	2
	活動日数(日)	60	60	60
	人件費(千円)	4,320	4,320	4,320
正職員以外(選択↓)	従事者数(人)			
	活動日数(日)			
	人件費(千円)			

【事業費の推移】

	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
事業費合計(千円)	30,368	32,114	29,914

【指標】

活動指標	活動指標名①	交通安全施設数(道路照明灯・ガードレール・カーブミラー)				
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
		箇所	17	22	14	
	活動指標名②					
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
成果指標	成果指標名①	人身事故発生件数				
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
		件	目標値	250	225	200
			実績値	284	254	
			達成度(%)	88%	89%	
	成果指標名②					
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
			目標値			
	実績値					
	達成度(%)					

十和田市事務事業評価シート

【担当課による検証】

ポイント		検証(選択)	評価	点数	合計	検証の理由				
妥当性	① 市民ニーズ等から見る妥当性 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか	A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている	A	2	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">存在意義の見直しの余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">交通事故防止は、市の重要な役割のひとつであり、必要である。</td> </tr> </table>	存在意義の見直しの余地	0 / 4	交通事故防止は、市の重要な役割のひとつであり、必要である。	
	存在意義の見直しの余地	0 / 4								
交通事故防止は、市の重要な役割のひとつであり、必要である。										
② 実施主体である妥当性 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか)	A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない	A	2							
有効性	③ 活動指標から見る有効性 活動指標の実績は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2	5	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">成果向上の余地</td> <td style="text-align: center;">1 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">道路照明灯、カーブミラー等の交通安全施設は、交通事故防止に大きな効果がある。人身事故発生件数がH26年度から10%減少しているものの目標に達していないので、継続して事故防止に努める。</td> </tr> </table>	成果向上の余地	1 / 6	道路照明灯、カーブミラー等の交通安全施設は、交通事故防止に大きな効果がある。人身事故発生件数がH26年度から10%減少しているものの目標に達していないので、継続して事故防止に努める。	
	成果向上の余地	1 / 6								
	道路照明灯、カーブミラー等の交通安全施設は、交通事故防止に大きな効果がある。人身事故発生件数がH26年度から10%減少しているものの目標に達していないので、継続して事故防止に努める。									
④ 成果指標から見る有効性 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	B	1							
⑤ 事務事業の見直しの余地 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2							
効率性	⑥ 事業費の削減の余地 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2	6	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">コスト削減の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">要望に対し、基準を設けて現場点検を行い、設置を判断しており、効率的に事業を実施している。</td> </tr> </table>	コスト削減の余地	0 / 6	要望に対し、基準を設けて現場点検を行い、設置を判断しており、効率的に事業を実施している。	
	コスト削減の余地	0 / 6								
	要望に対し、基準を設けて現場点検を行い、設置を判断しており、効率的に事業を実施している。									
⑦ 他の事務事業との統合・連携 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2							
⑧ 民間委託等 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2							
公平性	⑨ 受益の偏り 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか	A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている	B	1	3	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">受益者負担適正化の余地</td> <td style="text-align: center;">1 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">町内会未設置地域への対応を検討する必要があると思われる。</td> </tr> </table>	受益者負担適正化の余地	1 / 4	町内会未設置地域への対応を検討する必要があると思われる。	
	受益者負担適正化の余地	1 / 4								
町内会未設置地域への対応を検討する必要があると思われる。										
⑩ 受益者負担の見直しの余地 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2							
現在の適性					18 / 20	改善の余地	2 / 20			

【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **18** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **2** 点です。

【担当課長による評価】

当該事業の今後の方向性(選択) ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

有効性を改善して継続

方向性の理由 ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

町内会要望を通しての対応は今後も継続していくが、町内会未設置地域へは、広報紙で交通安全施設の設置要望を呼びかける等の対応を検討する必要があると思われる。

今後の具体的な取組方策と狙う効果 ※事業終了年度がH27の場合は、『事業を実施したことにより今後見込まれる効果』を記載してください。

現状の町内会等からの要望対応とともに、町内会未設置地域への対応を検討し、全市的な安全対策を講じる。